

2009年8月20日

各位

経営企画室

## 社内および常駐先のプロジェクトでインフルエンザ感染が確認されています

ニュース等の報道でご存知のとおり、昨日、厚生労働省から新型インフルエンザの「流行宣言」がなされました。

本日社内でも感染者が報告されております。また、お客様常駐のプロジェクトでも感染報告が相次いでいます。(ただし、新型か否かは確定していません)

現状、病院では新型か季節性かの判定を行わないケースが多い状況ですが、最近の報道にもありますように半数以上は新型といわれています。

社員各位、気を引き締め、自己防衛をお願いするとともに、感染拡大防止に全力で取り組んでください。

当社といたしましては、厚生労働省の呼びかけを鑑み、『持ち込まない、罹らない、拡げない』を徹底するために、

日常の感染予防の励行(手洗い、うがいなど)  
必要に応じたマスクの着用(マスクエチケットの徹底)  
不急不要の外出自粛  
発熱や咳症状があり、体調が悪い場合は、出勤せず、医療機関に受診  
十分な睡眠やバランスのとれた食事など、日常の生活に留意した基礎体力作り

をお願いします。

また、適切な対応をすみやかに行うため、すみやかな報告を徹底してください。

常駐プロジェクトの場合は、原則、常駐先の指示にしたがってください。

自己および家族等について、感染が疑われた場合、感染が認められた場合は、慌てず、焦らず、その発生事実について迅速な状況報告をお願いいたします。また、合わせて、2次感染の防止に努めてください。なお、同居の家族が感染した場合は、2次感染の可能性が高いため、症状が無くても、すぐの出勤は控え、電話等で状況を連絡の上、指示にしたがってください。

メールでの報告が有効ではありますが、緊急時は電話でも構いません。タイミングとスピードが重要です。

感染者の発生場所によって、対応方法が異なることもありますので、報告の際は以下の点に留意してください。  
(項目を列挙していますが、当該状況に応じて必要な内容を追加して報告してください)

感染者氏名、性別、年齢、続柄  
所属部門(または所属会社)  
就業場所  
感染が確認された日  
症状および通院や入院の履歴  
想定される感染経路(不明な場合は「不明」とする)  
感染者が属する職場やプロジェクトの配置および他のメンバーの所属・氏名等(協力会社含む)

状況により、就業制限や出勤停止の他、検温の義務付け、マスク着用の指示などを行います。  
また、流行の特徴にあわせた対策を随時実施することとします。

自分は絶対大丈夫、という過信は禁物です。万が一感染した場合は、社内のメンバーや同居家族等への影響を念頭に行動してください。

感染予防対策では、常に「社会的責任」を念頭においた「日常的な予防と初期の適切な行動」が重要です。

(ご参考)

新型インフルエンザ最新情報はこちら

<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/index.html>

港区新型インフルエンザ情報はこちら

[http://www.city.minato.tokyo.jp/kurasi/iza/influenza\\_ah1n1/index.html](http://www.city.minato.tokyo.jp/kurasi/iza/influenza_ah1n1/index.html)

国立感染症研究所感染症情報センター情報はこちら (流行地、発生国詳細も掲載されています)

[http://idsc.nih.go.jp/disease/swine\\_influenza/index.html](http://idsc.nih.go.jp/disease/swine_influenza/index.html)

\*\*\*\*\* 基本対策事項 \*\*\*\*\*

基本的な予防策等は、従前の掲示内容にかぶりますが以下のとおりです。

『持ち込まない、罹らない、拡げない』を徹底するために

ウイルスは主に咳やくしゃみのしぶきを通じて広がります。入社時、帰社時の手洗い、うがいを徹底してください。

手洗いは、ドアノブや手すりなどを触った手で食事したり、目をこすったりして感染するリスクを軽減できます。石鹸を使い、最低15秒以上洗ってください。消毒用アルコールも併用すると一層効果的です。

外出時、通勤時のマスクの着用については、電車の中や人混みなど、感染リスクが高いと思われる場所においては、着用を推奨します。

やむを得ない、感染リスクの高い地域への出張や施設等への入場の際は、必ずマスクを着用してください。この場合、状況によっては、定期的な検温を指示することがあります。なお、マスクを着用した状態で打合せ等を行うときは、相手に了解を得るなど、配慮してください。

お客様等からマスク着用や手指の消毒などの要請がある場合は、すみやかな対応をお願いいたします。咳やくしゃみのしぶきが飛ぶ範囲は1～2メートルといわれています。周囲に配慮し、マスクエチケットを心がけてください。

日ごろから健康管理に努め、栄養バランスのとれた食事と十分な休息をとるよう、心がけてください。

人間が本来持っている免疫力を高める工夫が大切です

発熱など、からだの変調に気づいたときは、ムリをせず、医療機関に相談して、適切に行動してください。クレスコ健康相談24もご活用ください。

不要不急の国内出張は当面、禁止とします。やむを得ず出張する場合は、期間、場所、宿泊施設などを上長経由で事前に人事部に報告してください。

海外渡航につきましては、発生地域、感染拡大地域に係らず、事前に「渡航先(滞在先含む)、出国予定日、帰国予定日、往復の便名等」を人事部に報告してください。この場合、公私は問いません。

感染ルート の 解明 を 容易 に する ため、 「いつ、どこで、誰と」といった自己の行動が、のちのちに把握できるよう、各位にて留意してください。

以上